**発表タイトルはこの行にご記載ください**

**副題がある場合はこの行にご記載ください。無ければ空白にしてください。**

第一著者氏名1・第二著者氏名1・第三著者氏名1,2

（1 所属機関名A・2所属機関名B）

**背景と目的**

　○○は、○○○○として知られている（Kanakogi *et al.*, 2000）。○○の詳細の理解が進めば、○○に貢献すると考えられる一方で、現状では○○に留まっている（堀井ら、2022）。○○についての孟ら（2021）の報告によれば、○○であり、これを踏まえると、○○である可能性がある。この検証のためには、○○を考慮した○○の実施が必要である。そこで本研究では、○○を通じた○○により、○○を実施した。

**方法**

○○を対象として、○○と○○を実施した。○○は、右図に示す○○とした。○○は、まず○○を実施した後、○○を○○した。そのうえで、○○とした。

○○で得たデータは、○○の手法を用いて○○とした。ここで、○○を考慮した。○○と○○を比較することで、○○が○○である可能性を検証する。

**結果**

　○○の結果を下図に示す。縦軸は○○、横軸は○○である。また、○○は○○を、○○は○○であることを示している。○○と○○を比較すると、○○は○○であった。これに対して、○○は○○であることが伺える。

**考察と結論**

　結果の○○は、○○が○○である可能性を支持するものであった。○○の実施により、○○であったといえる。○○となった原因は、○○であると考えられるものの、今回の方法では○○の限界があるため、○○である。○○について今後さらに検証を進めるためには、○○が必要であると考える。

**謝辞**

　本研究は科学研究費補助金○○の補助を受けた。